

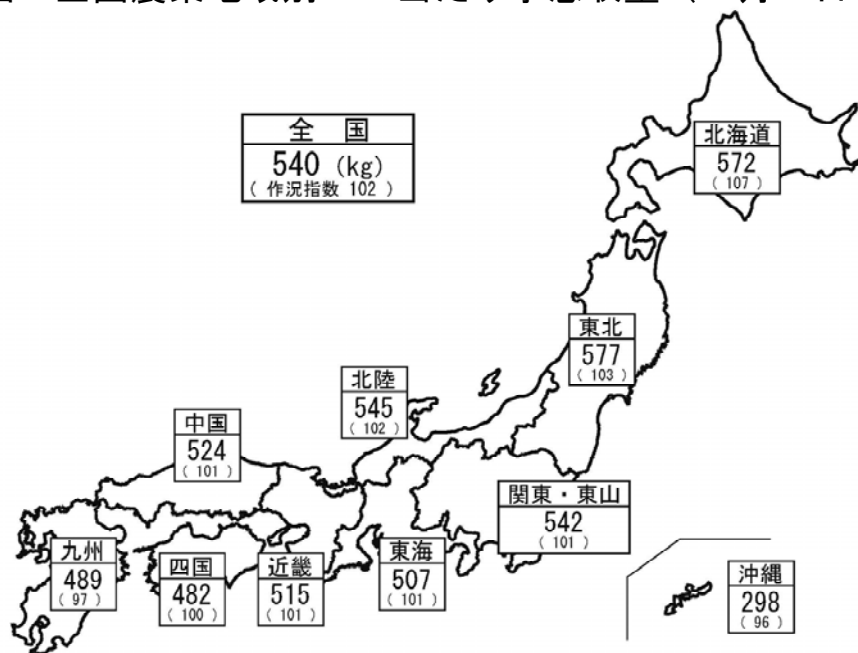
平成24年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

－ 水稻の10 a 当たり予想収量は540kg（作況指数102）の見込み －

【調査結果の概要】

- 1 平成24年産水稻の作付面積（子実用）は157万9,000haで、前年産並みであった。
また、主食用作付見込面積は152万4,000haが見込まれる。
- 2 10月15日現在における水稻の作柄は、全もみ数が一部地域を除きおおむね平年並みに確保されたことに加え、登熟も順調に推移していることから、全国の10 a 当たり予想収量は540kg（作況指数102）が見込まれる。
- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は851万9,000 tが見込まれる。
また、主食用作付見込面積に10 a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は821万1,000 tが見込まれる。

図 全国農業地域別10 a 当たり予想収量（10月15日現在）



- 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。
- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。
- 作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。
- この調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

この統計調査結果の統計表は、政府統計の総合窓口（e-Stat）の「統計データ新着情報」で御覧いただけます。
【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

◎ 水稲作況調査結果の利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産数量目標の策定及び達成状況の確認のための資料
- ・ 農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料

◎ 累年データ

水稲（子実用）の年次別推移（全国）

年 産	作 付 面 積 (子 実 用)	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量 (子 実 用)	参 考			作 況 指 数
				主 食 用 作 付 面 積	収 穫 量 (主 食 用)	10 a 当 たり 平 年 収 量	
	ha	kg	t	ha	t	kg	
昭和57年産	2,230,000	458	10,212,000	477	96
58	2,246,000	459	10,308,000	478	96
59	2,290,000	517	11,832,000	479	108
60	2,318,000	501	11,613,000	481	104
61	2,280,000	508	11,592,000	484	105
62	2,123,000	498	10,571,000	487	102
63	2,087,000	474	9,888,000	490	97
平成元	2,076,000	496	10,297,000	492	101
2	2,055,000	509	10,463,000	494	103
3	2,033,000	470	9,565,000	497	95
4	2,092,000	504	10,546,000	498	101
5	2,127,000	367	7,811,000	499	74
6	2,200,000	544	11,961,000	499	109
7	2,106,000	509	10,724,000	501	102
8	1,967,000	525	10,328,000	502	105
9	1,944,000	515	10,004,000	504	102
10	1,793,000	499	8,939,000	507	98
11	1,780,000	515	9,159,000	512	101
12	1,763,000	537	9,472,000	518	104
13	1,700,000	532	9,048,000	518	103
14	1,683,000	527	8,876,000	522	101
15	1,660,000	469	7,779,000	524	90
16	1,697,000	514	8,721,000	525	98
17	1,702,000	532	9,062,000	527	101
18	1,684,000	507	8,546,000	529	96
19	1,669,000	522	8,705,000	529	99
20	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	530	102
21	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	530	98
22	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	530	98
23	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	530	101

資料：農林水産省大臣官房統計部『作物統計』

注：「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示している。

【調査結果】

1 平成24年産水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から青刈り用の面積を除いた子実用作付面積は157万9,000haで、前年産並みであった。

また、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた主食用作付見込面積は152万4,000haで、前年産並みが見込まれる。

2 10月15日現在における水稲の地域別の作柄は、北海道では、生育期間を通して天候に恵まれたことにより、全もみ数がやや多く、登熟も順調に推移したことから、10a当たり予想収量は572kg（作況指数107）が見込まれる。

東北から四国では、総じて天候に恵まれ、全もみ数がおおむね平年並みに確保された地域が多く、登熟もおおむね平年を上回っていることから、東北は10a当たり予想収量577kg（同103）、北陸は545kg（同102）、関東・東山は542kg（同101）、東海は507kg（同101）、近畿は515kg（同101）、中国は524kg（同101）、四国は482kg（同100）が見込まれる。

九州では、6月の日照不足等の影響により全もみ数が総じて平年を下回ったことに加え、北部で台風第16号による被害等がみられることから、10a当たり予想収量489kg（同97）が見込まれる。

この結果、全国の10a当たり予想収量は540kg（同102）が見込まれる。

3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は851万9,000tが見込まれる。

また、主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は821万1,000tが見込まれる。

表 平成24年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在、全国農業地域別）

全国農業地域	作付面積（子実用）			10a当たり 予想収量 ②	予想収穫量（子実用）			参 考			
	実 数 ①	前年産との比較			実 数 ③=①×②	前年産との比較		主食用作付 見込面積 ④	予想収穫量 （主食用） ⑤=④×②	10a当たり 平年収量 ⑥	作況指数 ⑦=②/⑥
		対 差	対 比			対 差	対 比				
	ha	ha	%	kg	t	t	%	ha	t	kg	
全 国	1,579,000	5,000	100	540	8,519,000	122,000	101	1,524,000	8,211,000	530	102
北 海 道	112,000	△ 900	99	572	640,600	6,100	101	108,700	621,800	535	107
東 北	396,700	7,700	102	577	2,288,000	89,000	104	374,500	2,159,000	559	103
北 陸	209,400	600	100	545	1,141,000	19,000	102	194,100	1,057,000	534	102
関 東・東 山	295,500	△ 100	100	542	1,603,000	26,000	102	288,000	1,563,000	535	101
東 海	101,900	△ 500	100	507	516,900	2,500	100	100,800	510,900	503	101
近 畿	109,100	△ 200	100	515	561,400	10,200	102	107,400	552,700	509	101
中 国	114,700	△ 400	100	524	601,600	1,200	100	113,000	592,300	517	101
四 国	55,800	△ 400	99	482	269,000	400	100	55,500	267,100	484	100
九 州	183,300	△ 200	100	489	895,700	△ 31,300	97	181,200	884,500	503	97
沖 縄	905	△ 16	98	298	2,700	160	106	905	2,700	309	96

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付見込面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。

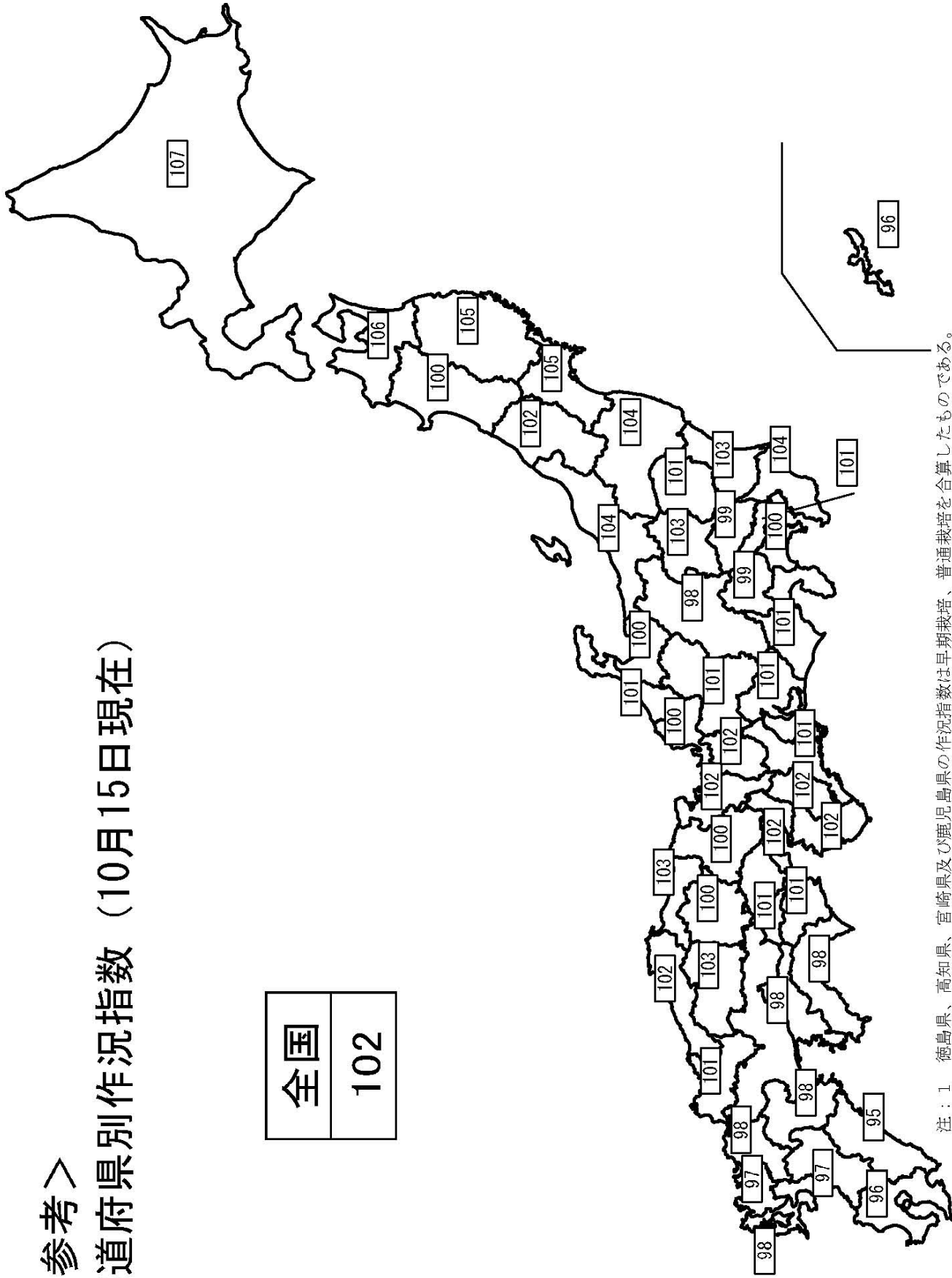
3 予想収穫量（子実用）及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

4 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

<参考>

都道府県別作況指数（10月15日現在）

全国
102



注：1 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通栽培を合算したものである。
 2 沖縄県の作況指数は、第一期稲の10a当たり収量及び第二期稲の10a当たり平年収量から算出した沖縄県計の10a当たり予想収量と、10a当たり平年収量の比率である。

【統計表】

統計表一覧

ページ

- 1 平成24年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）・・・ 6
- 2 平成24年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）・・・ 8
- 参考1 平成24年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、収穫量（子実用）及び10 a 当たり収量（全国農業地域別概数値）・・・ 9
- 参考2 平成24年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）・・・ 11
- 参考3 収穫量調査の流れ・・・ 13
- 参考4 作況標本筆とは・・・ 14

利用上の注意

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は以下のとおりである。
「－」：事実のないもの
「△」：負数又は減少したもの

1 平成24年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

全 国 都 道 府 県	作付面積（子実用）			10a当たり 予想収穫量 ②	予想収穫量 実数 ③=①×②
	実数 ①	前年産との比較			
		ha	ha	%	kg
全 国 (1)	1,579,000	5,000	100	540	8,519,000
北 海 道 (2)	112,000	△ 900	99	572	640,600
青 森 (3)	47,800	900	102	619	295,900
岩 手 (4)	54,600	100	100	559	305,200
宮 城 (5)	70,200	3,800	106	559	392,400
秋 田 (6)	91,100	1,100	101	573	522,000
山 形 (7)	66,800	100	100	604	403,500
福 島 (8)	66,200	1,800	103	557	368,700
茨 城 (9)	75,800	300	100	540	409,300
栃 木 (10)	63,200	△ 800	99	544	343,800
群 馬 (11)	17,800	200	101	508	90,400
埼 玉 (12)	35,300	100	100	486	171,600
千 葉 (13)	60,500	100	100	552	334,000
東 京 (14)	161	△ 4	98	416	670
神 奈 川 (15)	3,210	△ 10	100	493	15,800
新 潟 (16)	117,500	100	100	558	655,700
富 山 (17)	39,000	100	100	536	209,000
石 川 (18)	26,400	400	102	526	138,900
福 井 (19)	26,400	△ 100	100	519	137,000
山 梨 (20)	5,280	△ 10	100	542	28,600
長 野 (21)	34,200	0	100	610	208,600
岐 阜 (22)	24,600	0	100	492	121,000
静 岡 (23)	17,100	△ 100	99	525	89,800
愛 知 (24)	30,100	△ 200	99	510	153,500
三 重 (25)	30,100	△ 200	99	507	152,600
滋 賀 (26)	32,800	100	100	529	173,500
京 都 (27)	15,600	0	100	519	81,000
大 阪 (28)	5,680	△ 60	99	507	28,800
兵 庫 (29)	38,300	△ 100	100	502	192,300
奈 良 (30)	9,250	△ 80	99	523	48,400
和 歌 山 (31)	7,430	△ 160	98	504	37,400
鳥 取 (32)	14,000	△ 100	99	527	73,800
島 根 (33)	19,100	100	101	519	99,100
岡 山 (34)	32,700	△ 400	99	527	172,300
広 島 (35)	26,000	0	100	539	140,100
山 口 (36)	22,900	△ 100	100	508	116,300
徳 島 (37)	13,200	0	100	477	63,000
早 期 栽 培 (38)	5,100	20	100	464	23,700
普 通 栽 培 (39)	8,120	△ 20	100	485	39,400
香 川 (40)	14,500	△ 200	99	504	73,100
愛 媛 (41)	15,300	△ 100	99	490	75,000
高 知 (42)	12,900	0	100	449	57,900
早 期 栽 培 (43)	7,550	△ 10	100	469	35,400
普 通 栽 培 (44)	5,310	△ 30	99	419	22,200
福 岡 (45)	38,500	△ 200	99	490	188,700
佐 賀 (46)	26,600	0	100	509	135,400
長 崎 (47)	13,700	0	100	468	64,100
熊 本 (48)	38,100	200	101	501	190,900
大 分 (49)	23,600	100	100	491	115,900
宮 崎 (50)	19,100	100	101	473	90,300
早 期 栽 培 (51)	7,970	80	101	471	37,500
普 通 栽 培 (52)	11,100	0	100	474	52,600
鹿 児 島 (53)	23,800	△ 300	99	464	110,400
早 期 栽 培 (54)	5,450	△ 90	98	425	23,200
普 通 栽 培 (55)	18,300	△ 300	98	475	86,900
沖 縄 (56)	905	△ 16	98	298	2,700
第 一 期 稲 (57)	595	△ 21	97	359	2,140
第 二 期 稲 (58)	310	5	102

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付見込面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。

(子実用)		参 考				
前年産との比較		主食用作付 見込面積 ④	予想収穫量 (主食用) ⑤=②×④	10a当たり 平年収量 ⑥	作況 指数 ⑦=②/⑥	
対差	対比					
t	%	ha	t	kg		
122,000	101	1,524,000	8,211,000	530	102	(1)
6,100	101	108,700	621,800	535	107	(2)
15,400	105	45,200	279,800	582	106	(3)
7,600	103	52,400	292,900	533	105	(4)
29,200	108	69,300	387,400	530	105	(5)
9,900	102	78,600	450,400	573	100	(6)
11,300	103	63,000	380,500	594	102	(7)
15,100	104	66,000	367,600	537	104	(8)
15,900	104	74,000	399,600	522	103	(9)
△ 6,300	98	60,900	331,300	540	101	(10)
2,200	102	16,800	85,300	494	103	(11)
900	101	34,700	168,600	490	99	(12)
12,100	104	59,500	328,400	533	104	(13)
△ 30	96	161	670	411	101	(14)
△ 700	96	3,210	15,800	493	100	(15)
24,100	104	107,300	598,700	539	104	(16)
△ 5,300	98	36,300	194,600	537	100	(17)
1,600	101	25,100	132,000	519	101	(18)
△ 1,600	99	25,400	131,800	517	100	(19)
△ 200	99	5,230	28,300	547	99	(20)
2,000	101	33,600	205,000	623	98	(21)
1,700	101	24,400	120,000	488	101	(22)
△ 2,900	97	17,000	89,300	521	101	(23)
△ 1,000	99	29,600	151,000	507	101	(24)
4,700	103	29,700	150,600	500	101	(25)
5,700	103	32,200	170,300	518	102	(26)
1,800	102	15,400	79,900	511	102	(27)
0	100	5,670	28,700	495	102	(28)
2,600	101	37,500	188,300	504	100	(29)
0	100	9,200	48,100	513	102	(30)
100	100	7,430	37,400	495	102	(31)
2,000	103	13,900	73,300	514	103	(32)
1,400	101	18,900	98,100	509	102	(33)
△ 4,100	98	32,100	169,200	526	100	(34)
4,100	103	25,500	137,400	523	103	(35)
△ 2,200	98	22,500	114,300	504	101	(36)
1,900	103	13,100	62,500	474	101	(37)
900	104	463	100	(38)
1,000	103	480	101	(39)
2,100	103	14,400	72,600	499	101	(40)
△ 2,300	97	15,200	74,500	498	98	(41)
△ 1,300	98	12,800	57,500	460	98	(42)
200	101	481	98	(43)
△ 1,700	93	430	97	(44)
△ 6,000	97	37,900	185,700	499	98	(45)
△ 5,800	96	26,400	134,400	527	97	(46)
△ 2,500	96	13,600	63,600	478	98	(47)
△ 5,800	97	37,600	188,400	515	97	(48)
△ 1,400	99	23,500	115,400	503	98	(49)
△ 2,600	97	18,900	89,400	497	95	(50)
1,000	103	480	98	(51)
△ 3,900	93	511	93	(52)
△ 7,200	94	23,200	107,600	483	96	(53)
△ 500	98	443	96	(54)
△ 7,200	92	495	96	(55)
160	106	905	2,700	309	96	(56)
310	117	370	97	(57)
...	(58)

3 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付見込面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

4 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

2 平成24年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）

都道府県	刈 取 期						刈取済面積割合	
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較		当年値	対平年差	
				対平年	対前年			
	月 日	月 日	月 日			%	ポイント	
北海道	9. 15	9. 25	10. 5	2日早	並み	100	1	
青森	9. 21	9. 30	10. 11	4日早	3日早	99	7	
岩手	9. 19	10. 2	10. 15	3日早	3日早	97	5	
宮城	9. 18	9. 30	10. 11	2日早	2日早	98	2	
秋田	9. 18	9. 28	10. 7	5日早	6日早	100	3	
山形	9. 18	9. 29	10. 8	4日早	5日早	100	1	
福島	9. 27	10. 9	…	1日早	並み	92	10	
茨城	8. 31	9. 13	9. 26	1日早	並み	100	0	
栃木	9. 10	9. 19	10. 15	6日早	6日早	95	2	
群馬	9. 22	10. 13	…	2日早	1日早	59	4	
埼玉	9. 1	9. 22	…	2日早	2日早	94	5	
千葉	8. 21	9. 3	9. 15	1日早	1日早	100	0	
東京	9. 27	10. 6	…	1日遅	4日遅	90	0	
神奈川	9. 15	10. 4	…	2日早	1日早	91	5	
新潟	9. 7	9. 18	10. 2	5日早	2日早	100	0	
富山	8. 25	9. 14	9. 29	4日早	4日早	100	0	
石川	8. 26	9. 11	9. 24	3日早	2日早	100	0	
福井	8. 20	9. 8	9. 25	3日早	3日早	100	0	
山梨	9. 12	9. 28	10. 13	5日早	3日早	96	9	
長野	9. 12	9. 27	10. 14	5日早	3日早	96	4	
岐阜	9. 2	10. 2	…	1日早	並み	79	1	
静岡	8. 31	9. 22	…	並み	1日遅	91	2	
愛知	8. 31	10. 3	…	2日早	3日早	73	2	
三重	8. 23	9. 5	9. 20	2日遅	2日遅	100	0	
滋賀	9. 9	9. 17	9. 27	並み	1日遅	100	0	
京都	9. 6	9. 21	…	3日早	3日早	92	1	
大阪	9. 15	10. 13	…	1日遅	1日遅	72	1	
兵庫	9. 7	9. 24	…	1日遅	1日遅	83	△ 4	
奈良	9. 8	10. 14	…	1日早	2日早	63	7	
和歌山	8. 25	9. 18	10. 13	1日早	1日早	96	△ 1	
鳥取	9. 6	9. 20	10. 6	2日早	3日早	98	0	
島根	8. 28	9. 17	10. 6	並み	4日早	100	1	
岡山	9. 6	10. 2	…	2日早	2日早	68	2	
広島	9. 3	9. 22	10. 11	4日早	5日早	98	3	
山口	9. 5	9. 23	10. 14	並み	並み	96	1	
徳島	8. 14	8. 23	8. 31	1日遅	2日早	100	0	
早期栽培	8. 14	8. 23	8. 31	1日遅	2日早	100	0	
普通栽培	8. 24	9. 10	10. 14	並み	並み	96	△ 2	
香川	8. 25	10. 1	…	並み	1日遅	92	2	
愛媛	8. 20	9. 23	10. 15	1日遅	並み	95	1	
高知	8. 4	8. 17	8. 25	4日遅	4日遅	100	0	
早期栽培	8. 4	8. 17	8. 25	4日遅	4日遅	100	0	
普通栽培	9. 26	10. 6	…	2日遅	並み	91	△ 2	
福岡	9. 4	10. 3	…	1日早	並み	90	2	
佐賀	9. 2	10. 10	…	2日遅	2日遅	66	△ 3	
長崎	8. 23	10. 11	…	並み	並み	69	1	
熊本	8. 15	10. 8	…	並み	並み	67	△ 2	
大分	9. 18	10. 15	…	並み	2日早	52	△ 2	
宮崎	7. 27	8. 3	8. 12	1日遅	並み	100	0	
早期栽培	7. 27	8. 3	8. 12	1日遅	並み	100	0	
普通栽培	10. 3	10. 15	…	1日遅	並み	58	△ 3	
鹿児島	7. 29	8. 5	8. 17	並み	2日早	100	0	
早期栽培	7. 29	8. 5	8. 17	並み	2日早	100	0	
普通栽培	10. 5	10. 15	…	並み	1日早	58	2	
沖縄	6. 8	6. 23	7. 9	4日早	10日早	100	0	
第一期稲	6. 8	6. 23	7. 9	4日早	10日早	100	0	
第二期稲	…	…	…	…	…	-	-	

注：1 刈取期の始期とは刈取済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。

2 「…」は10月15日現在において、その期日に達していないことを示している。

3 刈取済面積割合の対平年差欄の「△」は平年より少ないことを示している。

【参考1】

平成24年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、収穫量（子実用）
及び10a当たり収量（全国農業地域別概数値）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としている（【参考3】参照）。

農家等が販売するために使用している選別ふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、刈取り済みの地域について、ふるい目幅の重量割合の概数値並びに選別ふるい目幅別収穫量（子実用）及び10a当たり収量の概数値を示すと次のとおりである。

1 ふるい目幅別重量分布状況

区分	合計	ふるい目幅					
		2.00mm以上	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
全国農業地域							
全 国							
重量割合(%)	100.0	81.7	13.0	2.2	1.5	1.0	0.6
対平均差		4.9	△ 3.3	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.2
北 海 道							
重量割合(%)	100.0	79.0	15.2	2.3	1.6	1.2	0.7
対平均差		△ 2.1	1.4	0.1	0.1	0.3	0.2
東 北							
重量割合(%)	100.0	87.2	9.4	1.5	1.0	0.6	0.3
対平均差		6.4	△ 4.3	△ 0.9	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.3
北 陸							
重量割合(%)	100.0	84.5	11.4	1.7	1.2	0.8	0.4
対平均差		5.5	△ 4.1	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.2
関 東 ・ 東 山							
重量割合(%)	100.0	77.5	16.5	2.6	1.8	1.0	0.6
対平均差		6.3	△ 4.1	△ 0.9	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.3
東 海							
重量割合(%)	100.0	86.1	9.4	1.8	1.1	0.9	0.7
対平均差		7.9	△ 5.7	△ 1.2	△ 0.6	△ 0.2	△ 0.2
近 畿							
重量割合(%)	100.0	83.1	11.4	2.1	1.6	1.1	0.7
対平均差		4.4	△ 2.8	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.2
中 国							
重量割合(%)	100.0	83.8	11.3	2.0	1.4	0.9	0.6
対平均差		1.9	△ 1.1	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1
四 国							
重量割合(%)	100.0	77.7	15.1	3.0	2.0	1.4	0.8
対平均差		6.8	△ 4.5	△ 1.2	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.2
九 州							
重量割合(%)	100.0	70.0	20.2	4.3	2.6	1.8	1.1
対平均差		2.3	△ 1.5	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.1

注：1 対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。

2 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。

【参考 1（続き）】

2 選別ふるい目幅別収穫量（子実用）及び10a当たり収量

全 国 農業地域	区 分	選別ふるい目幅別収穫量及び10a当たり収量					
		1.70mm 選別	1.75mm 選別	1.80mm 選別	1.85mm 選別	1.90mm 選別	2.00mm 選別
全 国	収穫量（子実用）（t）	8,519,000	8,468,000	8,383,000	8,255,000	8,067,000	6,960,000
	10a当たり収量（kg）	540	537	531	523	511	441
北 海 道	収穫量（子実用）（t）	640,600	636,100	628,400	618,200	603,400	506,100
	10a当たり収量（kg）	572	568	561	552	539	452
東 北	収穫量（子実用）（t）	2,288,000	2,281,000	2,267,000	2,245,000	2,210,000	1,995,000
	10a当たり収量（kg）	577	575	572	566	557	503
北 陸	収穫量（子実用）（t）	1,141,000	1,136,000	1,127,000	1,114,000	1,094,000	964,000
	10a当たり収量（kg）	545	543	538	532	523	461
関東・東山	収穫量（子実用）（t）	1,603,000	1,593,000	1,577,000	1,548,000	1,507,000	1,242,000
	10a当たり収量（kg）	542	539	533	524	509	420
東 海	収穫量（子実用）（t）	516,900	513,300	508,600	502,900	493,600	445,100
	10a当たり収量（kg）	507	503	499	493	484	437
近 畿	収穫量（子実用）（t）	561,400	557,500	551,300	542,300	530,500	466,500
	10a当たり収量（kg）	515	511	506	497	487	428
中 国	収穫量（子実用）（t）	601,600	598,000	592,600	584,200	572,100	504,100
	10a当たり収量（kg）	524	521	516	509	498	439
四 国	収穫量（子実用）（t）	269,000	266,800	263,100	257,700	249,600	209,000
	10a当たり収量（kg）	482	478	471	462	447	375
九 州	収穫量（子実用）（t）	895,700	885,800	869,700	846,400	807,900	627,000
	10a当たり収量（kg）	489	484	475	462	441	342

注：1 選別ふるい目幅別の収穫量とは、全国及び農業地域別の予想収穫量に選別ふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 選別ふるい目幅別の10a当たり収量とは、表頭のふるい目幅を使用した際に得られる10a当たり収量のことである。

【参考2】

平成24年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	
北海道 (107)	石狩	106	群馬 (103)	中毛	100	
	南空知	107		北毛	104	
	北空知	107		東毛	105	
	上川	106	埼玉 (99)	東部	100	
	留萌	106		西部	97	
	渡島	107		千葉 (104)	京葉	102
	檜山	108	九十九里		104	
	後志	106	南房総		103	
	胆振	108	東京 (101)	東京	101	
	日高	107		神奈川 (100)	神奈川	100
十勝	125	新潟 (104)			岩船	104
網走	114		下越北		107	
青森 (106)	青森		107	下越南	105	
	津軽	106	中越	101		
	南部・下北	106	魚沼	99		
		106	上越	103		
岩手 (105)	北上川上流	104	佐渡	103		
	北上川下流	105	富山 (100)	富山	100	
	東部	107		石川 (101)	加賀	101
	北部	107			能登	102
宮城 (105)	南部	105			福井 (100)	嶺北
	中部	104	嶺南	100		
	北部	106	山梨 (99)	山梨		99
東部	106	長野 (98)		東信	97	
秋田 (100)	県北			99	南信	100
	県中			100	中信	98
	県南	100	北信	97		
山形 (102)	村山	101	岐阜 (101)	西南濃	101	
	最上	104		中濃	101	
	置賜	101		東濃	101	
	庄内	102		飛騨	101	
福島 (104)	中通り	104	静岡 (101)	東部	100	
	浜通り	101		西部	101	
	会津	101		栃木 (101)	北部	101
茨城 (103)	北部	104	中部		99	
	鹿行	104	南部		102	
	南部	102	栃木 (101)		北部	101
	西部	104		中部	99	
栃木 (101)	北部	101		南部	102	
	中部	99				
	南部	102				

平成24年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）（続き）

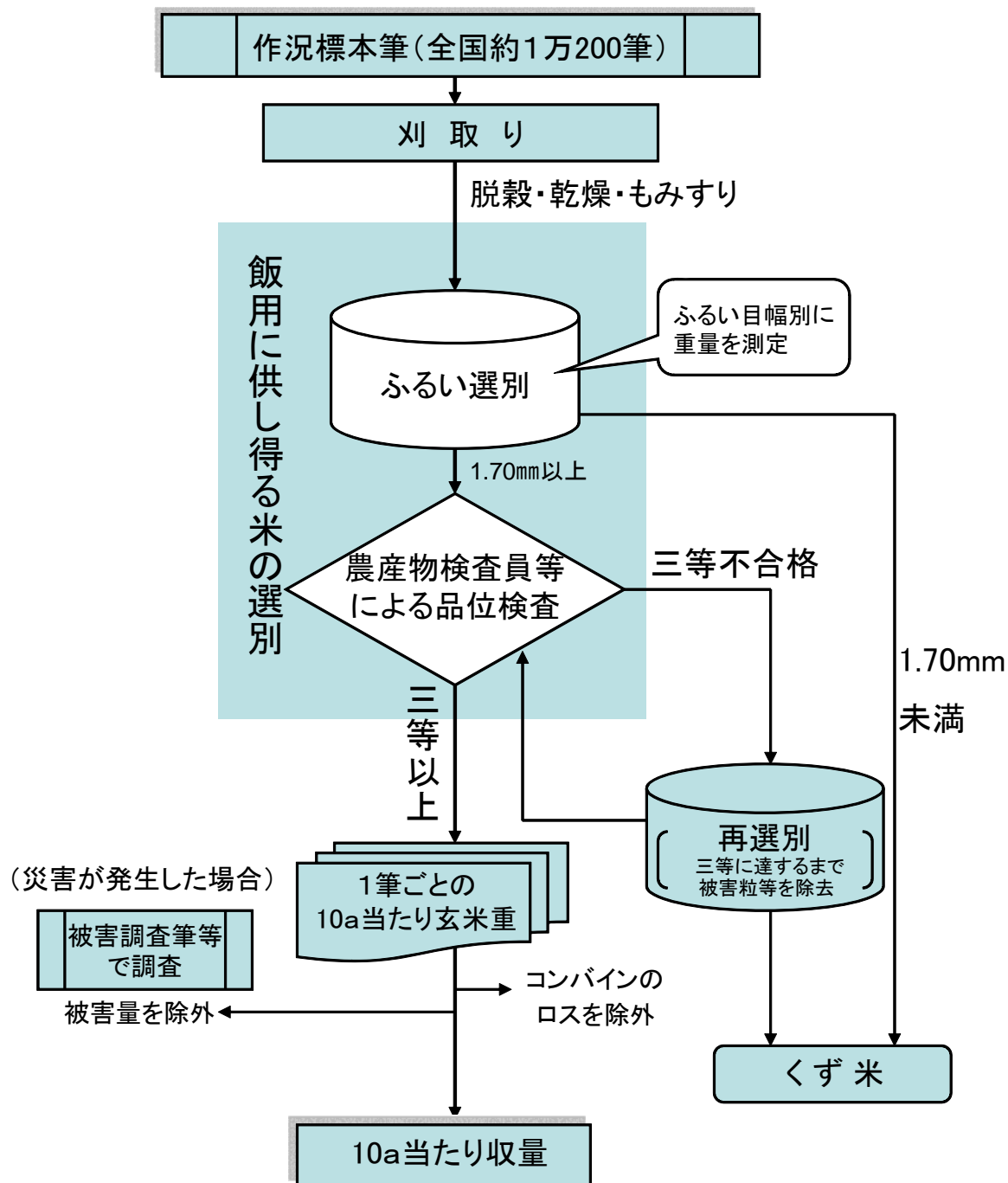
都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数
愛知 (101)	尾張	100	高知 (98)	中東部	98
	西三河	101		西部	96
	東三河	100			
三重 (101)	北勢	103	福岡 (98)	福岡	96
	中勢	100		北東部	98
	南勢	101		筑後	99
	伊賀	101	佐賀	97	
滋賀 (102)	湖南	102	佐賀	松浦	96
	湖北	102			
京都 (102)	南部	102	長崎 (98)	西彼	97
	北部	101		東南部	98
大阪 (102)	大阪	102	熊本 (97)	県北	97
				五島	86
兵庫 (100)	県南	99	大分 (98)	老岐・対馬	106
	県北	100		北	100
	淡路	100		湾岸	96
奈良 (102)	奈良	102	宮崎 (95)	南部	95
和歌山 (102)	和歌山	102		日田	99
鳥取 (103)	東部	103		鹿児島 (96)	広域沿海
	西部	102	広域霧島		93
島根 (102)	出雲	102	鹿児島 (96)		西北山間
	石見	102		薩摩半島	97
岡山 (100)	南部	101		沖縄 (96)	出水薩摩
	中北部	99	伊佐始良		95
広島 (103)	南部	102	沖繩		大隅半島
	北部	103		熊毛・大島	104
山口 (101)	東部	100		沖繩	沖繩諸島
	西部	101	八重山		96
	長北	102			
徳島 (101)	北部	101			
	南部	100			
香川 (101)	香川	101			
愛媛 (98)	東予	100			
	中予	98			
	南予	96			

注：西南暖地の早期栽培等の地域（徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県）は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。なお、沖縄県の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

【参考3】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考4】参照）ごとに一定面積の稲を刈り取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考4】

ふで
作況標本筆とは

ふで
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆(1枚のほ場を筆と呼ぶ。)は、都道府県ごとの水稻の10a当たり収量が把握できるように、標本理論に基づいて以下のよう
に各地で選定(全国で約1万200筆)している。

都道府県内の全耕地
(母集団)



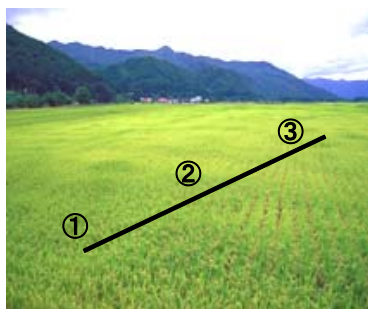
- 1 都道府県ごとの耕地を、約2ha(北海道は約10ha)の区画に区切った単位区の集まり(調査母集団)として整理し、その中の水田を含むものから、無作為抽出法(人間の恣意を排したくじ引きのような選び方)により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(約2ha)



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(全国で約1万200筆)



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所(①、②、③)を実測調査箇所として、サンプル採取(坪刈り)を行っている。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲作付面積調査及び水稲予想収穫量調査として実施し、水稲の作付面積、作柄状況・予想収穫量を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

なお、全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域名	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

3 調査対象数

(1) 作付面積調査

標本単位区：39,484単位区 巡回・見積り：1,720市町村

(2) 予想収穫量調査

作況標本筆：10,200筆 作況基準筆：721筆 巡回・見積り：1,720市町村

4 調査事項

水稲の作付面積、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況及び耕種状況

5 調査期日

(1) 作付面積調査：7月15日現在

(2) 予想収穫量調査：10月15日現在

6 調査方法

(1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行った。

(2) 予想収穫量調査

調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査並びに作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

7 集計方法

- (1) 作付面積調査
対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。
- (2) 予想収穫量調査
調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

8 用語の解説

- (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WC S用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指す。
- (2) 「作況指数」とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。
- (3) 「10 a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。

9 その他

- (1) 本調査(10月15日現在)は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。
- (2) 本調査についての確定値は、「平成24年産水陸稲の収穫量」として12月上旬に公表する予定である。
- (3) 滋賀県の一部において、除草剤の飛散により廃棄することが見込まれるものがあるが、それらの作付面積及び収穫量も本調査結果に含めている。

【ホームページ掲載案内】

○各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞大臣官房の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞生産局の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

— お問合せ先 —

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3681

(直通) 03-6744-2045

F A X : 03-5511-8771

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3682

(直通) 03-3502-5687

F A X : 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3589

(直通) 03-6744-2037

F A X : 03-3501-9644